



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月29日

上場会社名 株式会社両毛システムズ

上場取引所 東

コード番号 9691

URL <https://www.ryomo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北澤 直来

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 上山 和則 (TEL) 0277 - 53 - 3131

四半期報告書提出予定日 2020年8月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	3,282	9.2	155	111.1	159	104.2	102	110.6
2020年3月期第1四半期	3,006	13.5	73	—	78	—	48	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 116百万円(477.7%) 2020年3月期第1四半期 20百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	29.41	—
2020年3月期第1四半期	13.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	15,728	8,458	53.8
2020年3月期	15,999	8,457	52.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 8,458百万円 2020年3月期 8,457百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	33.00	33.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期期末配当金の内訳 普通配当 18円00銭 50周年記念配当 15円00銭

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,900	△14.0	200	△70.0	204	△69.7	131	△70.2	37.44
通期	16,000	1.0	750	△41.1	765	△40.5	506	△41.4	144.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期1Q	3,510,000株	2020年3月期	3,510,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	11,137株	2020年3月期	11,137株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期1Q	3,498,863株	2020年3月期1Q	3,498,905株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、政府による緊急事態宣言が発出され、休業や外出自粛要請により社会・経済活動が制限されるなか、個人消費は減少し、輸出企業や製造業においても、需要減少により企業収益が急速に減少するなど、景気は極めて厳しい状況で推移いたしました。

緊急事態宣言解除後は、個人消費の持ち直しの動きや、企業の業況判断は厳しさが残るものの改善の兆しが見られるなど、景気は極めて厳しい状況にありますが、下げ止まりつつある状況も見受けられました。しかしながら、感染者数の増加を背景とした第2波への警戒が高まるなど、景気の先行きは予断を許さない状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社及び連結子会社（以下、当社グループ）では、「RSビジョン2025」実現に向け、第9次中期経営方針である、「変革・成長」、「強化・拡大」、「構造改革」、「戦略投資」を目指し、公共分野及び民間分野とも引き続き受注拡大、製品・サービス強化、ならびに収益構造の改善に取り組んでまいりました。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の取組みでは、お客様、当社グループ従業員の健康に十分配慮した上で、ガイドラインを策定し、外出や出張の自粛、Web会議、電話会議の活用に加え、リモートワークを推進したことで当第1四半期連結累計期間においては、お客様に安定したサービスを計画的に提供できました。

その結果、売上高は3,282百万円（前年同期比9.2%増）、営業利益は155百万円（前年同期比111.1%増）、経常利益は159百万円（前年同期比104.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は102百万円（前年同期比110.6%増）となりました。

セグメントごとの業績は、以下のとおりです。

(公共事業セグメント)

公共事業セグメントは、前年同期に比べシステム機器・プロダクト関連販売分野は低迷したものの、ソフトウェア開発・システム販売分野では、水道事業者向けシステム販売等が収益に貢献いたしました。

その結果、売上高は1,294百万円（前年同期比13.9%増）、セグメント利益は183百万円（前年同期比485.5%増）となりました。

(社会・産業事業セグメント)

社会・産業事業セグメントは、システム機器・プロダクト関連販売分野が堅調に推移いたしました。ソフトウェア開発・システム販売分野では、ガス事業者向け「G I O S（ジーオス）」は、堅調に推移いたしました。しかしながら、コロナ禍での製造業の企業収益悪化を受け、製造業向け開発案件が低迷したことなどにより、利益面で前年同期を下回ったものの、計画は上回りました。

その結果、売上高は1,987百万円（前年同期比6.3%増）、セグメント利益は422百万円（前年同期比1.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態に関する分析

(資産・負債・純資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は15,728百万円（前連結会計年度末15,999百万円）となり、270百万円減少しました。流動資産は10,538百万円となり180百万円減少し、固定資産は5,190百万円となり89百万円減少しました。

流動資産の減少要因は、現金及び預金が856百万円増加しましたが、売上債権の回収等により受取手形及び売掛金が1,001百万円、リース投資資産が161百万円それぞれ減少したこと等によるものです。固定資産の減少要因は、社内制作のソフトウェアが完成したことにより、ソフトウェアが149百万円増加しましたが、ソフトウェア仮勘定が179百万円減少したこと等によるものです。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は7,270百万円（前連結会計年度末7,541百万円）となり、271百万円減少しました。流動負債は3,468百万円となり65百万円減少し、固定負債は3,801百万円となり206百万円減少しました。

流動負債の減少要因は、賞与引当金が338百万円増加しましたが、買掛金が133百万円、消費税の納付等によりその他（主に未払金）が276百万円それぞれ減少したこと等によるものです。固定負債の減少要因は、リース債務が208百万円減少したこと等によるものです。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は8,458百万円（前連結会計年度末8,457百万円）となり、1百万円増加しました。これは主に、配当金の支払等により利益剰余金が12百万円減少しましたが、その他有価証券評価差額金が12百万円増加したこと等によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ356百万円増加し、3,761百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、1,049百万円（前年同期は1,362百万円）となりました。この主な要因は、仕入債務の減少額286百万円の資金の減少はありましたが、売掛金回収による売上債権の減少額1,009百万円の資金の増加があったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、538百万円（前年同期は102百万円）となりました。この主な要因は、定期預金の担保差入れによる支出500百万円の資金の減少があったこと等によるものです。

営業活動及び投資活動によるキャッシュ・フローをあわせたフリー・キャッシュ・フローは510百万円の増加（前年同期は1,260百万円）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、156百万円（前年同期は33百万円の収入）となりました。この主な要因は、配当金の支払額111百万円の資金の減少等があったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の経済見通しについては、景気は極めて厳しい状況にありますが、下げ止まりつつある状況も見受けられる一方、感染者数の増加を背景として第2波への警戒が高まるなど、景気の先行きは予断を許さない状況が続いております。

このような状況のなか、新型コロナウイルス感染症拡大リスクの低減として取り組んでまいりました出張の自粛等により、受注活動への影響が見受けられますが、ICTを活用した新しい働き方やお客様との繋がり方などを提案し、計画達成に向けて今後の活動に取り組んでまいります。

以上のことから、当社グループの第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、現時点で2020年5月12日に開示した内容に修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,773,738	4,629,794
受取手形及び売掛金	2,703,396	1,701,603
リース投資資産	2,641,025	2,479,354
たな卸資産	645,567	790,843
その他	955,366	936,556
貸倒引当金	△83	△57
流動資産合計	10,719,010	10,538,094
固定資産		
有形固定資産	2,379,033	2,316,774
無形固定資産		
ソフトウェア	422,067	571,557
ソフトウェア仮勘定	194,741	14,972
その他	316,827	305,476
無形固定資産合計	933,637	892,006
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	1,306,546	1,327,355
その他	660,878	654,661
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,967,424	1,982,016
固定資産合計	5,280,095	5,190,798
資産合計	15,999,106	15,728,893
負債の部		
流動負債		
買掛金	546,342	412,657
未払法人税等	73,024	75,448
賞与引当金	749,253	1,087,346
役員賞与引当金	16,044	27,494
受注損失引当金	18,440	11,736
その他	2,130,530	1,853,853
流動負債合計	3,533,637	3,468,536
固定負債		
長期借入金	1,500,000	1,500,000
リース債務	2,292,020	2,083,029
退職給付に係る負債	2,964	3,048
資産除去債務	145,000	145,000
その他	68,237	70,796
固定負債合計	4,008,222	3,801,874
負債合計	7,541,859	7,270,410

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,966,900	1,966,900
資本剰余金	2,453,650	2,453,650
利益剰余金	4,267,293	4,254,721
自己株式	△8,667	△8,667
株主資本合計	8,679,175	8,666,604
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8,178	4,444
為替換算調整勘定	△31,466	△28,840
退職給付に係る調整累計額	△182,284	△183,725
その他の包括利益累計額合計	△221,929	△208,121
純資産合計	8,457,246	8,458,482
負債純資産合計	15,999,106	15,728,893

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	3,006,511	3,282,650
売上原価	2,346,631	2,507,256
売上総利益	659,879	775,394
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	212,767	239,278
賞与引当金繰入額	74,598	85,647
役員賞与引当金繰入額	9,489	11,449
退職給付費用	△3,368	5,624
その他	292,746	277,936
販売費及び一般管理費合計	586,232	619,935
営業利益	73,646	155,458
営業外収益		
受取利息	322	275
受取配当金	3,759	3,055
受取賃貸料	1,872	1,874
転リース差益	3,136	3,010
その他	1,378	2,193
営業外収益合計	10,469	10,408
営業外費用		
支払利息	5,026	4,788
賃貸収入原価	250	250
その他	690	1,223
営業外費用合計	5,967	6,262
経常利益	78,148	159,605
特別損失		
固定資産除却損	28	34
特別損失合計	28	34
税金等調整前四半期純利益	78,119	159,570
法人税等	29,267	56,679
四半期純利益	48,852	102,891
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	48,852	102,891

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	48,852	102,891
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,320	12,622
為替換算調整勘定	△3,139	2,625
退職給付に係る調整額	△12,192	△1,441
その他の包括利益合計	△28,652	13,807
四半期包括利益	20,200	116,698
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,200	116,698
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	78,119	159,570
減価償却費	88,160	95,125
無形固定資産償却費	56,305	69,427
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△69,145	△22,837
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△322	-
賞与引当金の増減額 (△は減少)	346,875	337,975
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	9,489	11,449
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	74,147	△6,704
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△175	△25
受取利息及び受取配当金	△4,081	△3,330
支払利息	5,026	4,788
固定資産除却損	28	34
売上債権の増減額 (△は増加)	1,544,854	1,009,141
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△468,577	△145,275
リース投資資産の増減額 (△は増加)	150,479	161,670
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	32,127	40,488
仕入債務の増減額 (△は減少)	△128,466	△286,070
未払費用の増減額 (△は減少)	62,224	60,802
リース債務の増減額 (△は減少)	△162,118	△174,051
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△1,687	△216,608
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△3,970	△5,847
その他	△1,279	△1,279
小計	1,608,015	1,088,444
利息及び配当金の受取額	4,026	3,267
利息の支払額	△5,116	△4,807
法人税等の支払額	△244,492	△37,758
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,362,432	1,049,145
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△29	△30
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△13,617	2,385
有形固定資産の取得による支出	△41,620	△33,740
無形固定資産の取得による支出	△47,107	△6,818
関係会社貸付けによる支出	△3,000	-
関係会社貸付金の回収による収入	3,000	-
定期預金の担保差入れによる支出	-	△500,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△102,375	△538,203
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	50,500	-
リース債務の返済による支出	△41,859	△45,470
セール・アンド・リースバックによる収入	86,967	-
配当金の支払額	△61,958	△111,017
財務活動によるキャッシュ・フロー	33,648	△156,488
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,755	1,683
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,291,950	356,137
現金及び現金同等物の期首残高	3,170,856	3,405,010
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,462,806	3,761,147

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

(偶発債務)

2018年12月14日に開示した「当社に対する訴訟の提起に関するお知らせ」のとおり、2018年10月26日付けで株式会社オージス総研より訴訟を提起されました。

当社といたしましては、訴訟手続きにおいて、当社の正当性が全面的に受け容れられるよう主張してまいります。

なお、本件訴訟が当社グループの今後の業績に与える影響につきましては、現時点で合理的に予測することは困難であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	公共事業	社会・産業事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,136,682	1,869,829	3,006,511	—	3,006,511
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,136,682	1,869,829	3,006,511	—	3,006,511
セグメント利益	31,311	427,992	459,304	△385,657	73,646

(注) 1. セグメント利益の調整額△385,657千円には、各報告セグメントに配分していない製造補助部門費△44,364千円及び全社費用△341,292千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	公共事業	社会・産業事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,294,876	1,987,774	3,282,650	—	3,282,650
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,294,876	1,987,774	3,282,650	—	3,282,650
セグメント利益	183,321	422,039	605,360	△449,901	155,458

(注) 1. セグメント利益の調整額△449,901千円には、各報告セグメントに配分していない製造補助部門費△71,369千円及び全社費用△378,531千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。